



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」  
2018年 駿台は創立100周年を迎えます

新聞社・通信社  
教育担当各位

2017年9月11日  
学校法人 駿河台学園 広報部

## 2018年度 東京大学 入試志望動向について

駿台教育研究所 進学情報事業部では8月12・13日に実施した「第1回東大入試実戦模試」における志望動向について、まとめましたのでお知らせいたします。

### 【全体のポイント】

- 全体では志望者指数97(前年度を100とする指数)とやや減少。前年度模試での増加から一転して減少に転じた。
- 文理別では、志望者数は文科類が指数99で前年度並みだったのに対して、理科類が指数97のやや減少。前年度に引き続いて模試では文科類の人气が理科類を上回っている。

### 【科類ごとのポイント】

- 文科一類は、指数105のやや増加で、唯一増加した科類となった。  
平均偏差値は前年度並みなので、やや難化傾向。
- 文科二類は、指数98でほぼ前年度並。前年度模試の増加の反動は小さい。  
平均偏差値は0.7ポイントダウンで、成績レベルはダウンしており、やや易化傾向が見られる。  
ただし、成績上位層で第2志望としている受験生が多くいるので、今後の志望変更による流入には要注意。
- 文科三類は、指数94の減少だが、前年度模試の大幅増加の反動は少ない。  
平均偏差値は0.5ポイントアップしており、成績レベルもアップしていることから、易化傾向は見られない。
- 理科一類は、指数98でほぼ前年度並。平均偏差値も前年度との変化はなく、前年度並の入試が予想される。
- 理科二類は、指数92の減少で前年度の増加を上回る減少率となっている。  
さらに、平均偏差値も0.4ポイントダウンしていることから、やや易化傾向が見られる。  
ただし、成績上位層で第2志望としている受験生が多くいるので、今後の志望変更による流入には要注意。
- 理科三類は、指数96とやや減少しているが、平均偏差値も0.6ポイントもアップしており、少数激戦の厳しい入試が予想される。

上記資料が必要な場合、またお問い合わせにつきましては、駿河台学園広報部(担当:中村)までご連絡ください。

(学)駿河台学園 広報部

TEL 03-5259-3231

FAX 03-5259-3057

E-mail [public-s@sundai.ac.jp](mailto:public-s@sundai.ac.jp)